

# ニラ栽培 1 年目のネダニ類に対する効果的な防除法

福島県農業総合センター 生産環境部 作物保護科

## 1 部門名

野菜—ニラ—病虫害防除

## 2 担当者名

山内富士男、松木伸浩

## 3 要旨

ニラは、施設で連作していることからネダニ類の被害が問題になっているが、登録薬剤が少ないため防除が困難な状況にある。そこで、ニラ栽培においてネダニ類に対する防除法を検討した結果、定植時にプロチオホス粉粒剤を植溝土壌混和し、さらに定植 60 日程度経過時に、DMTP 乳剤を株元灌注する方法が効果的であった。

- (1) 試験は、6月22日にニラを定植したほ場で実施し、株養成期間の11月まで調査を行った。ネダニ類は、伊達市のニラ栽培ほ場で採集したネダニモドキ属を定植時に放虫した。
- (2) 試験薬剤は、粒剤が植溝土壌混和処理剤のプロチオホス粉粒剤（商品名：トクチオン細粒剤 F）、株元灌注処理剤がDMTP 乳剤（商品名：スプラサイド乳剤 40）を施用した。
- (3) 試験区のネダニモドキ属の寄生虫数は、粒剤および株元灌注剤処理後を通じて低密度に抑えた(図 1)。また、試験区のニラは無処理区と比べ、草丈が高く、生育が良かった(表 1)。
- (4) ロビンネダニの試験も同様の方法で実施し、同様の結果であった。

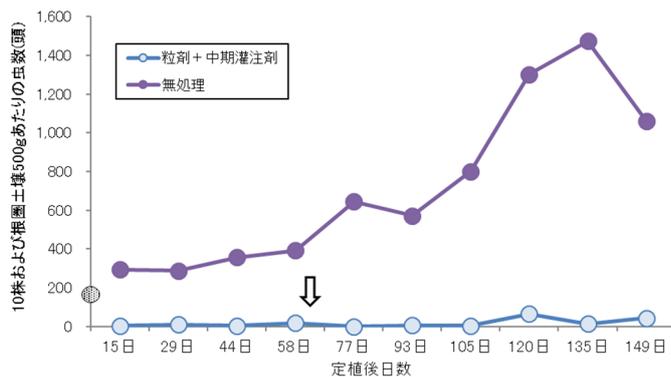


図1 ニラにおけるネダニモドキ属の寄生数の推移(2020年度)  
 注1 ①は粒剤処理日、②は灌注剤処理日  
 注2 定植日は6月22日。調査期間は7月7日から11月18日まで

表1 ニラ生育調査(2020年度)

| 区        | 草丈(cm) |        |
|----------|--------|--------|
|          | 10月21日 | 11月19日 |
| 粒剤+中期灌注剤 | 49.9*  | 47.4*  |
| 無処理      | 40.1   | 39.3   |

\*はt検定により5%水準で有意差があることを示す。  
 供試虫:ネダニモドキ属、定植日:6月22日。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 27 年度～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 新奇・難防除病虫害に対する防除技術の開発

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 三本菅猛ら, 福島県内のニラ産地で採集したネダニ類の種類と各種薬剤感受性, 北日本病害虫研究会報, 68, p.269, 2017.